

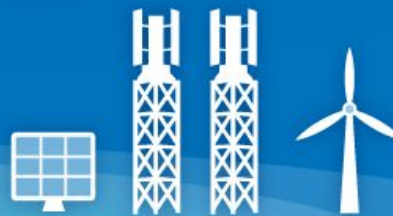
Waste Water Treatment



Comfortable household equipment



Natural Energy



2024年12月期 連結決算概要

2025年2月14日

|                     | 2023年通期 | 2024年通期 |        | 2025年通期 |        |
|---------------------|---------|---------|--------|---------|--------|
|                     | 実績      | 実績      | 前期比    | 予想      | 前期比    |
| 売上高                 | 426.8億円 | 468.6億円 | +9.8%  | 478.0億円 | +2.0%  |
| 営業利益                | 6.6億円   | 10.5億円  | +59.3% | 11.0億円  | +4.5%  |
| 経常利益                | 8.3億円   | 11.4億円  | +36.7% | 11.5億円  | +0.5%  |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 2.0億円   | 3.5億円   | +72.5% | 6.5億円   | +83.6% |

## 2024年の状況

- 売上高
  - 主要セグメントである環境機器および住宅機器は堅調に増加（大型案件、海外事業、M&Aなど）し、過去最高の売上高
- 利益
  - 原材料・外注費高騰分の販売価格への転嫁は進捗
  - 人的資本への投資（定期昇給と合わせて2023/4に5%の上昇率にてベースアップ実施、2024/12期業績を踏まえた賞与増額支給）
  - 海外事業への投資（現地スタッフの採用、バングラデシュ法人の設立）
  - 成長分野への投資（2023年にM&A実施）

# 2024年12月期 セグメント別概要


|  環境機器関連事業 | 2023年通期 | 2024年通期 |        | 2025年通期 |       |
|--|---------|---------|--------|---------|-------|
|  | 実績      | 実績      | 前期比    | 予想      | 前期比   |
| 売上高  | 210.1億円 | 236.8億円 | +12.7% | 243.2億円 | +2.7% |
| セグメント利益(営業利益)  | 14.2億円  | 20.3億円  | +42.7% | 19.6億円  | △3.4% |
| 参考：経常利益  | 15.4億円  | 20.9億円  | +35.1% |         |       |

## 2024年の状況

- 国内売上：大型案件の進捗、価格転嫁への対応
- 海外売上：インド・スリランカにおける引き合いの増加によって売上増加
- ストックビジネス：排水処理施設メンテナンス事業及び地下水飲料化事業ともに堅調に推移、メンテナンス契約更改時には価格改訂も実施

## 参考情報

- 海外の状況【グループ決算への取り込みは3ヶ月遅れであり、2024年12月期に取り込んでいる海外数値は2023年10月～2024年9月】
  - インド：現地の大手メーカーより工場管理責任者、品質管理責任者を採用。日本人スタッフとの連携の元で工場運営・品質管理を改善中
  - スリランカ：現地の最大手ディベロッパーとの取引開始。組立工場の稼働は計画通りに進捗
  - バングラデシュ：2019年から現地パートナーと協働で政府・民間大手への営業活動を展開。2024年1月に現地法人を設立し、取組を強化  
 2024年7月に発生したデモの影響によりDAIKI AXIS BANGLADESH LTD. も一時的に操業が難しい状況となるも、暫定政権樹立以降は  
 落ち着きを取り戻し、世界各国からの援助も広がり復旧を目指している状況  
 (参照：2024年10月21日『[海外における案件の進捗状況および各国の現状について【2024年12月期第3四半期】](#)』)
- 仕入価格等の上昇
  - 樹脂やガラス繊維などの仕入価格や外注費の値上げ継続中。順次販売価格への転嫁に向けた対応を実施
  - 2024/4からは長距離運賃が大幅に値上がり

|  住宅機器関連事業 | 2023年通期 | 2024年通期 |        | 2025年通期 |       |
|--|---------|---------|--------|---------|-------|
|  | 実績      | 実績      | 前期比    | 予想      | 前期比   |
| 売上高  | 183.0億円 | 198.4億円 | +8.4%  | 200.0億円 | +0.8% |
| セグメント利益(営業利益)  | 2.7億円   | 4.5億円   | +62.5% | 4.6億円   | +2.9% |
| 参考：経常利益  | 3.6億円   | 5.4億円   | +48.1% |         |       |

## 2024年の状況

- 売上(卸売) : 新設住宅着工戸数の減少はあるものの、売上高は堅調に推移  
 (マンション等の賃貸住宅は堅調に推移しているが、注文住宅の新設着工戸数は低水準)
- 売上(工事) : 子会社の取得による空調設備工事的増加によって工事売上は大きく増加。また、設備投資需要の回復に伴って農業温室や外壁工事が好調
- セグメント利益 : 卸売における仕入価格高騰分の転嫁は進捗。子会社含め工事売上の増加に伴い利益も増加

## 参考情報

- 木構造事業を2024年より本格化
  - 地域産材利活用方法の提案・構造設計・部材製造・販売・建て方支援などの幅広い業務を当社が請け負う
  - 2023年までは商社としての展開であったが、2024年からはメーカーとして展開を進めることで利益率の改善に貢献見込み
- 総合スマートホームサービスの取扱開始 (2024年11月11日『[【ダイキアクシス×三菱地所】総合スマートホームサービス「HOMETACT」を中四国エリアで販売開始。](#)』)
  - 住宅業界の新しいインフラとして三菱地所が開発した「HOMETACT」の取扱を開始。松山本社にショールームを開設。
  - 新築やリフォームを検討中のお客様へスマートホーム化という新しい付加価値の提案
- 仕入価格等の上昇
  - 仕入価格等の値上げは継続中だが、販売価格への転嫁を随時実施。今後はベースアップ分や、2024/4からの配送費値上げなど、販管費部分の価格転嫁が課題

# 2024年12月期 セグメント別概要

| 再生可能エネルギー<br>関連事業 | 2023年通期 | 2024年通期 |        | 2025年通期 |        |
|-------------------|---------|---------|--------|---------|--------|
|                   | 実績      | 実績      | 前期比    | 予想      | 前期比    |
| 売上高               | 27.4億円  | 27.0億円  | △1.4%  | 29.0億円  | +7.1%  |
| セグメント利益(営業利益)     | 2.5億円   | 1.2億円   | △52.3% | 1.8億円   | +50.3% |
| 参考：経常利益           | 2.5億円   | 0.8億円   | △67.3% |         |        |

## 2024年の状況

- 太陽光：発電所の自社保有による売電(FIT活用またはPPAモデル)への注力により、施設数が増加。2023年は大型高利益案件があったため、セグメント利益減少
- 小形風力：FITによる売電施設は現在31サイト稼働中  
2023年は他社と共同参画していた環境省の「CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」向け売上があり、今期の売上は減少
- BDF：軽油に当社製品を5%混合したB5軽油の契約数堅調に推移

## 参考情報

- 太陽光：買収した子会社を中心とした顧客ニーズへの対応（PPAモデル、施設販売）
  - FIT施設：商業施設店舗屋根置き129サイトを中心に、全188サイト（前年同期±0件）が稼働中
  - PPA施設：大口電力需要家向けに自社所有施設からの売電を2023年3月より開始、現在は32サイト（前年同期より16件増加）が稼働中
- 小形風力：FITによる売電施設について、2025年までに70サイト稼働に向けて推進。現在は31サイト（前年同期より7件増加）が稼働中
- BDF：製造プラントのある愛媛だけでなく、需要の多い関東地方での事業展開を開始（製造プラントの建設は完了し、本稼働に向けた準備中）  
 （2024年5月14日『[BDFの安定供給を関東地方でも開始](#)』、2024年12月3日『[セブン-イレブン店舗への配送車両にバイオ燃料供給\(茨城牛久工エリア\)](#)』）  
 他社と連携した空港施設内における作業車両への供給は、四国4県全ての空港において採用。  
 （2024年6月20日『[徳島阿波おどり空港と高松空港にてバイオディーゼル燃料『D・O・i・L®』を空港内作業車両へ導入開始](#)』）

# 2024年12月期 セグメント別概要

| その他<br>(家庭用飲料水事業<br>・ベンチャーキャピタル事業) | 2023年通期 | 2024年通期 |       | 2025年通期 |       |
|------------------------------------|---------|---------|-------|---------|-------|
|                                    | 実績      | 実績      | 前期比   | 予想      | 前期比   |
| 売上高                                | 6.2億円   | 6.1億円   | △1.1% | 5.8億円   | △5.9% |
| セグメント利益(営業利益)                      | 0.3億円   | △0.2億円  | －%    | △0.1億円  | －%    |
| 参考：経常利益                            | 0.2億円   | △0.5億円  | －%    |         |       |

## 2024年の状況

- 2024年6月に、株式会社ナックと開発した全自動型ウォーターサーバー「アクシスウォーター」の取り扱いを開始
- 新製品の拡販に伴い広告宣伝費の増加
- ボトル型及び従来取り扱いの全自動型ウォーターサーバーから、新製品であるアクシスウォーターへ契約が移行しており、全体としての契約数は微増
- ベンチャーキャピタル事業において1号ファンドを組成、環境課題に向き合うスタートアップ企業等への投資を実行

## 参考情報

- アクシスウォーター：廃プラスチックの問題等を勘案し、ボトル型ウォーターサーバーから全自動型ウォーターサーバーへの移行を展開する中で、利用者の皆さまからの声を製品の改善や新モデルへの反映に漏れなくスピード感をもって進めることを目的として、当社が企画し、宅配水事業などを営む株式会社ナックとともに開発  
(2024年6月5日『[新しいお水がここに誕生。全自動型ウォーターサーバー「アクシスウォーター」](#)』)
- 全自動型ウォーターサーバーはサブスクモデルであることからストックビジネスとして企業基盤の強化に貢献